



遠野ふるさと村

岩手県遠野市にある野外博物館です。遠野郷に残された古い南部曲がり家（農家）を移築して、江戸時代の遠野の山里を再現しています。

- ・ 曲り家「大工どん」 - 明治時代中期築
- ・ 曲り家「川前別家」 - 江戸時代末期築
- ・ 曲り家「大野どん」 - 明治時代初期築
- ・ 曲り家「肝煎りの家」 - 江戸時代末期築、ふるさと村の中で最大の曲り家。庄屋の家
- ・ 曲り家「弥十郎どん」 - 文化9年(1812年)築、
- ・ 曲り家「水乃口」 - 明治時代中期築
- ・ 直家「こびるの家」 - 宝暦12年(1762年)築、ひつつみ等の食事ができる
- ・ 水車小屋

昔ながらの山村集落が再現されているということなどから、同県に所在する「えさし藤原の郷」と並び、近年ではNHK大河ドラマや時代劇映画のロケが行われることも多い施設です^[2]。

近年撮影された主な作品は以下のとおり。

天地人(2009 年)

龍馬伝(2010 年)

軍師官兵衛(2014 年)

蝸ノ記(映画、2014 年)^[3]

真田丸(2016 年)

・村内の主な施設の画像



馬釜: 冬季に飼葉をゆでて食べさせるのと、煙で

かやぶき屋根を守る役目果たします。



曲家は見事な茅葺屋根があつての趣です。



手入れの行き届いた管理に感心しました。



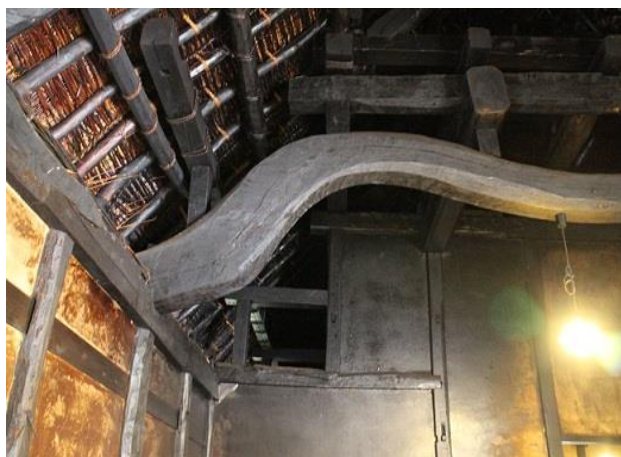
馬は一家の大事な財産として養われました。



村内はテレビのロケなどにも利用されます。



屋根の継ぎ目は見事な造形美です。



屋根裏の匠の技が見事です。

高山の「飛騨の里」と同様な施設で、同地の観光の拠点として運営されています。開村は平成8年と飛騨の里に比べて比較的新しく、近年は花巻温泉を訪れる台湾旅行者の利用も目立つようです。また修学旅行の体験コースも用意されており、そば打ちや草木染、わら細工や竹細工などにも挑戦できます。そんな体験や村内の案内を担うのがまぶりっとの人たちです。体験メニューなどを見てみたいと思います

「まぶりっと」の活動



遠野の文化と伝統を守る人を「まぶりっと(守り人)」と呼びます。

遠野ふるさと村には、このまぶりっと衆がいて、農作業などを行っています。同時に、ここで農村体験する人のインストラクターの役目も担っています。昔ながらの生活の知恵をまぶりっと衆がやさしく教えてくれます。

人気ランキング

【体験メニュー】		【食体験】		【物づくり体験】	
総合 1 位	昔話	1 位	そば打ち	1 位	草木染め
夏限定 1 位	ヤマメつかみ取り (5 月～9 月)	2 位	餅つき	2 位	陶芸
		3 位	けいらん	3 位	竹はし

○創作プログラム

わら細工体験	・馬っこ作り	竹細工体験	・竹とんぼ作り	・竹はし作り
草木染体験	・花瓶敷染	・ハンカチ染	陶芸体験	・小物陶器作り
絵付け定検	・絵馬絵付け	・こけし絵付け	小物作り体験	・お手玉作り
			・根付	

○食のプログラム

餅つき	蕎麦打ち
ヤマメのつかみ取り	ケイラン(湯団子)

○カルチャープログラム

昔話	
----	--

村内にはビジターセンター風樹舎があり、レストランを兼ねて地元物産の販売をしています。こんな活動をしている遠野ふるさと村ですが、その運営母体を見てみます。運営母体は「遠野ふるさと公社」といいます。

一般社団法人遠野ふるさと公社

事業概要

関係産業団体及び、産業人と連携し地域の素材と資源を活用し、地域の独自性を生かした特産品の開発、流通の拡充及び、地場産業の振興を図り、地域経済の活性化と市民福祉の向上を目的にしています。「市内経済活性化と市民福祉の向上」を理念に掲げ、物産と観光の振興に力を注いでいます。

所在地

〒028-0531

岩手県遠野市綾織町新里 8 地割 2 番地 1

設立年月日

昭和 59 年 5 月 19 日

資本金 7,100 万円

平成 29 年度一般社団法人遠野ふるさと公社役員名簿

遠野市長 理事長	本田敏秋
遠野商工会長 副理事長	佐々木弘志
花巻農業協同組合 理事 副理事長	菅原一雄
一般社団法人遠野ふるさと公社事務局長 常務理事	菊池美之
遠野市産業振興部長 理事	大里政純
遠野市農林畜産部長 理事	古川 憲
花巻農業協同組合 理事 理事	菊池 正明
花巻農業協同組合理事 理事	菊池 範子
遠野商工会副会長 理事	小井口 有
遠野商工会理事 理事	前川 敬子
学識経験者 理事	草野 悟
学識経験者 監事	高木 一
遠野市監査委員 監事	佐々木 資光

運営施設

遠野ふるさと村	のどかな風景の中で、さまざまな農村体験がまっています。遠野郷の自然と素朴な人情にふれるひとときを過ごして下さい。 平成 8 年 4 月 27 日オープン。
たかむろ水光園	遠野の美しい自然を再現。宿泊施設・食堂完備の他、太陽熱とトロンシステムを利用したサウナや霧の温泉があり健康増幅を図れます。平成 16 年 4 月 1 日管理運営開始。
伝承園	国の重要文化財の曲り家「菊池家」、千体のオンラサマを展示した「御蚕神堂」、遠野物語の話者「佐々木喜善記念館」など、見どころたっぷり。昭和 59 年 6 月 18 日オープン。
道の駅 遠野風の丘	地元で生産された農産物等の販売コーナーや、道路・観光・イベント情報を提供するインフォメーションコーナーがあります。
結の市	イオンモール盛岡南 1 階にあるアンテナショップです。遠野市の商品を中心に、県内各地の特産品を扱っております。 平成 18 年 9 月 12 日出店
千葉家	から 200 年ほど前に建てられた代表的な南部曲り家で、157 坪もある豪華なものです。平成 19 年に国重要文化財に指定。 平成 25 年 7 月 1 日管理受託

経営状況

「観光入込は施設合計で 102 万人（前年比 90.2%）、物産を含めた売上では 554,424 千円（前年比 94.4%）、収支では 8,189 千円の利益（前年度 431 千円）となった。 減収増益の要

因は、観光利用の低迷により売上が減少する中で、人件費等の費用減少があったこと、受託料増加があったこと、東京電力(株)からの和解金 9,291 千円の入金があったことなど、費用の圧縮とその他収入が増加したことによる。結果として単年度利益が増加し、繰越欠損金が圧縮となった」と h28 年度決算では報告されています。

〔利用者数〕

(単位：人、%)

施設	H24	H25	H26	H27	H28	前年比
伝 承 園	51,080	46,871	45,095	44,720	40,737	91.1
ふるさと村	38,557	35,312	34,388	32,847	31,186	94.9
風 の 丘	1,006,308	980,719	994,008	983,164	881,324	89.6
水 光 園	77,148	74,422	74,283	71,998	68,777	95.5
計	1,173,093	1,137,324	1,147,774	1,132,729	1,022,024	90.2

〔売店部門売上〕

(単位：千円、%)

施設	H24	H25	H26	H27	H28	前年比
伝 承 園	17,970	14,938	14,447	15,559	15,520	99.7
ふるさと村	16,819	14,421	12,664	11,843	11,002	92.9
風 の 丘	230,846	220,188	207,543	202,950	183,130	90.2
水 光 園	11,543	9,710	9,658	7,959	8,299	104.3
盛岡南店	103,552	105,010	102,814	123,756	116,898	94.5
計	380,730	364,267	347,126	362,067	334,849	92.5

〔食堂部門売上〕

(単位：千円、%)

施設	H24	H25	H26	H27	H28	前年比
伝 承 園	23,638	22,241	22,415	23,087	20,175	87.4
ふるさと村	23,434	18,535	20,027	19,289	18,315	95.0
風 の 丘	53,796	50,218	50,429	53,239	52,342	98.3
水 光 園	65,398	53,754	56,612	56,316	57,517	102.1
計	166,266	144,748	149,483	151,931	148,349	97.6

平成 28 年度決算では 事業収入 739,981,111.
 事業支出 732,065,895.
 事業外収支差額 274,268.
 法人税等 122,156.
 当期利益 8,067,328.
 前期繰越収支差額 △39,816,536.
 次期繰越収支差額 △31,749,208.

と報告されています。

考 察

今回遠野ふるさと村を視察させていただきました。博物館相当施設でもあり地域に根付いた曲り家を保存し、施設のメンテナンスにも力を入れられ、遠野の暮らしを守り伝える努力がされていました。当日は午後 4 時近くという事もあり、入

村者は少なかったのですがゆっくりと各保存施設を視察することができた。また「まぶりっと」のご婦人方から馬釜や曲家の解説を受ける機会もあり、遠野の昔の暮らしぶりや風土に根付いた文化について理解を深めることができました。

高山でもこのところの観光動向は団体から個人やグループ旅行が主流となり、施設観光も少し停滞傾向にあるのが実情です。そうした事からどのようにこの観光の流れに対応しておられるのか、少し経営状況を調べてみました。

経営母体は「一般社団法人遠野ふるさと公社」でした。運営施設はご覧いただいたように多岐にわたり、観光施設としての「ふるさと村」、「伝承園」の他、道の駅としての「風の丘」、温浴施設を備えた健康福祉施設の「水光園」、物産販売のテナント「結の市」などがあり、文化財施設管理の千葉家なども受託してます。こうした多角化による経営母体は、収益の確保という面からは強みであると言えます。

また組織の設立経緯から、指定管理による施設の運営管理も受託しており、指定管理料 37,241,485 円、受託料 15,954,544 円は合計 5300 万円となり経営基盤を支えていると言えます。

こうした背景から経営状況は前年対比微減というところですが、売り上額の停滞から減量経営に取り組み、経費縮減の努力や営業外収益で今期は 800 万円余の黒字となりましたが、累積赤字解消までには至っていません。さらなる営業努力が続くのだと思います。

遠野市の公社は各施設に食堂部門を備え、かつ物販をその収益の柱としてイオンモールなどに outlet しています。そんな中で水光園だけが収益が微増という事になっていますが、温浴施設併設等の施設の特徴もありますが、入込み客数減の中で収益増を確保している姿は健闘といえます。

遠野市のふるさと公社は 3 セクでの法人立ち上げで、地域振興に寄与していると言えます。しかしながら右肩上がりの成長が見込める時代とは変わり、より経営に力を注ぎ収益構造を強化していかなければならない時代背景となっています。そのことが h28 年度決算結果から覗えるところです。

高山市の観光事業会計は、平湯のアカダナ駐車場の収益を飛騨高山スキー場の赤字補てんに回す構造となっています。そうした体制では駐車場事業に必要な設備投資がおろそかになるなど、現場の事情の把握が十分に取れない経営感覚などの弊害も出てきています。そうした問題の解決がこれからの課題でもあります。

地方自治体は人口減少が続く中で、地域の雇用をどう維持していくのかに苦慮しています。稼ぐ力をどう強化していくのか、その産業振興策を官民で強化していかなければなりません。協働のまちづくりなど共助の仕組みにも力を入れなければなりませんが、それ以上に地域の稼ぐ力をどう組み立て実行していくのかが、今強く求められているのだと思います。